

都心部の公園における利用の多様性と包摂性についての考察 —福岡市警固公園を事例として—

平田 輝彦

1. 研究の概要

1-1. 研究の背景

マーモット（2017）¹⁾によると、都市公園は社会的弱者への健康格差対策案としての都市インフラとして疫学分野から評価されている。また、大塚ら（2014）²⁾は都市公園の利用を通じて、社会的健康が増進することを報告しており、都市公園には社会的弱者に対するセーフティネットのような役割があると言える。

一方で、公園整備の財源難や都市公園法改正を背景として、民間資本による公園整備や立体都市公園制度による改修が潮流となっている。それに対し、都市の富裕化と言われるように、一部の人にとっては、公園でさえも気軽に足を運ぶことができない場所になってしまっている実情もあるという批判もあり、公園の公共性や包摂性を改めて再考する必要がある。このような状況下で、2013年に再整備された福岡市中心部に立地する警固公園では、治安を改善し多様な人々の居場所づくりに成功している⁽¹⁾。

1-2. 研究の目的・構成

本研究は、警固公園における利用の様相を把握し、その要因と公園の公共性や包摂性に関する展望を考察することを目的とする。そのため、警固公園という一つの場を共有する事象について社会学的な観点で総合的に観察を行い、それらの関係を総合的に把握する。

構成として、2章で警固公園の立地特性とその周辺の歴史的変遷、再整備の内容を整理する。3章では、観察調査によって公園の利用実態を把握する。4章では、ヒアリングや既往研究を参照し、観察された利用実態を考察することで、利用者相互の関係まで含めた公園利用の総体的な状況を整理する。5章では、総括と、公園の公共性や包摂性に関する展望を整理する。

1-3. 既往研究の整理

警固公園を対象とする研究は数多くなされている。李ら（2017）³⁾は昼間の着座について、着座場所の選択理由を、羽生ら（2005）⁴⁾は深夜の若者やホームレスの過ごし方について、それぞれ観察・聞き取り調査を行っている。また警固公園の計画経緯や設計意図、再整備前後の利用実態については設計者である柴田

（2017）⁵⁾⁶⁾がまとめている。また、小松崎ら（2016）⁷⁾は24時間帯での利用実態調査やインタビュー調査を基に、景観特性や着座機能ごとの行動傾向などを多面的に分析し、景観デザインによる行動変容を導いたメカニズムを考察している。しかし、定性的な観察やヒアリングに基づき、警固公園で生じる事象の社会学的な意義を整理した研究は、管見の限り見られない。本研究は警固公園における多様な事象の総体と連関について着目した点に新規性がある。

2. 研究対象地の概要

2-1. 警固公園の立地特性

警固公園の平面図を図1に示す。警固公園は福岡市中央区天神二丁目に位置する近隣公園である（11,156m²⁸⁾⁽²⁾）。同公園の周辺には、地下鉄空港線の天神駅、地下鉄七隈線の天神南駅、西鉄天神大牟田線の西鉄福岡駅、西鉄天神高速バスターミナルが位置している。周辺には多数の大規模商業施設が集積している。



図1 対象地平面図(参考文献6と基盤地図情報を元に筆者作成)
2-2. 天神地区の歴史的変遷と再整備(参考文献7参照)

警固公園は1951年に開園した。1955年には、現ソラリアプラザの敷地に福岡スポーツセンターが、1970年には福岡のアマチュア音楽界隈をけん引したライブハウス照和が開業した⁹⁾。これらが魅力的な下位文化となり、警固公園は若者が集まる場所性を帶びたと考えられる⁽³⁾。70年代以降、天神の開発が急速に進んだことで商業施設群が高密度化し、南下した。つまり、警固公園は1951年の開園後に商業エリアの密度上昇と南下により周辺の環境が変化したことで、

人が訪れるポテンシャルを持つようになった。

1988年に警固公園で第一回目の再整備が行われ、見晴台のある築山や親水空間などを備えた公園が整備された。その結果、死角が発生し性犯罪等の犯罪行為の温床になった。福岡県警や市民、周辺企業などによる精力的な防犯ボランティアが実施されたが、抜本的な解決にまでは至らなかった。

このような状況を受け、2013年に福岡市によって二回目の再整備が行われた。その際、福岡大学の柴田が基本設計を行い、コンセプトとして防犯と景観の両立を定め、見通しと動線の確保による防犯効果の向上と周囲に広がる街の景観とにぎわいを警固公園の魅力として取り込むことを意図して設計が行われた¹⁰⁾¹¹⁾。

3. 觀察調査の結果

3-1. 調査の概要

3章では、書画公園で生じる事象、利用実態を把握する目的で2020年10月11日から11月6日の間で複数回フィールドワークを行った⁽⁴⁾。各日程で得ら

表1 調査期間中に付与された24時間の行動観察の相手(半音下灰●は休日付有の家主○は平日付有の家主)

7:00	早朝 ゴミがひどい カススの清掃開始		新聞を読む人 通勤する人	出勤前に便りビジ ネスパーソン	同じ距離パス待ちらしらんきー席を始める 朝食を食べる人 徒歩で寝る男性	壁を囲む性別 sitiingする集団 独り輪車場入口付近で寝る男 性	徹夜明けで会食する男女混合の集団 通宵・通勤・通勤と来ても嬉しい人たち なども広場で選ぶ男女グループ		
8:00	清掃完了 濡在着が 最も少ない状態	母子が広場を散歩して空き公園で遊び帰 る	出勤前に便りする人	出勤前に便りビジ ネスパーソン	一人暮らしの男性たち 一人暮らしの女性がコスニに合流 しない宗教の男性 ●私服で交際する人た ち	まだ残っている集団 ひとりだが不思議なミューで会 話する人	不思議コミュニティで使う女性シンガ ー海外への旅 だべっていった集団が広 場の中央でスクート		
9:00	通勤の人が帰る 待合 わらすらさ人連 ポー ター注目	女子高生のみ会員 男子高生のみコニ ー休憩	広場中央などあとでいる者たちで女子を抱 つける人	出勤前にコーヒーを飲む人 出勤まででうう人	広場中央で女子抱つける女 ひじきで会場 駐車場中央で シートホルダーブラック	広場のダメーラを抱める女性二人 スマホか シートホルダーブラック	会話をする外国人 男性	会話をする外国人 男性	
10:00	跳ねるなどのカッカル ド判断	大芦=会合する女 子高生集団	●父兄ごともうなぞうする者たちで子供を抱 つける人	父兄ごともうなぞうする者たちで子供を抱 つける人	ボーリーにたれて休憩する人々 女性会話 二人以上での喧嘩 増える	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	ハグアリの少女大學生 集団利用が増える デー マル前田	ダンスの練習中たり合いとシムー ジング	
11:00	私服の往来がほとんど ●オーバーの着用	広場で立ちゆる 女子高生集団	私服の便り者	私服の便り者	私服の便り者はほ んど	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	デーのカップル 待ち合わせ昼食や会話 時	ダンサーの知 合い公会議	
12:00	飲食をする人たちには ほど	●私の便りの高校 生ペーパーで見せる 黒	黒で高麗人を食べ る	黒で高麗人を食べ る	ビジネスパンの 腰帯も	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	デーのカップル 待ち合わせ昼食や会話 時	ジャクリングなど大作曲を行ってい る人	
13:00	●シンドキで銀座が復 讐されたまま待合 わらす人の人が多い ○一人の着用が多い	●次の休憩して いる女子	道具で遊ぶ子を抱 く	道具で遊ぶ子を抱 く	女性達のタヌク影撮影 会話 休憩 晩餐 スマート 1人多い デートの男女	荷物だけ持っている	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	カッフルよりも向性の集团が多い 畜生や会話 スマート	
14:00	多額な通勤費がかかる る 買い物をする人 多い	キッカガーディーなども	待ち合わせに合流する男性 子供の側面でも腰帯	待ち合わせに合流する男性 子供の側面でも腰帯	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	デトロイトで会話 休憩 座める こども広場に座 る女性 席地でヤクニン 丘で寝転ぶの大人組 政治家モデルを引 う集団	政治家モデルを引 う集団	
15:00	候として多数の人が 利している買物 店	●会話する女子高生 達	道具で遊ぶ子を抱 く	道具で遊ぶ子を抱 く	会話をしたビジネスパートナ ーが休憩	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	写真撮影を行 る大人組の集团	
16:00	飲食会場のような場 所が増える	会話する女子高生 達 道路わらすの 高級食事場	道具で遊ぶ子を抱 く	道具で遊ぶ子を抱 く	会話をしたビジネスパートナ ーが休憩	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	自転車で会話 する外国人男 四名	
17:00	飲食会場のような場 所が増える 仕事おわり のものも	部活終わるの高校 生がたべる女子高生 高校生が増える	どこでも広場の会場が2.3倍ほどにまで 広がる	工具で遊ぶ子を抱 く	会話を終えたビジネスパートナ ーたちが休憩	会話を終えたビジネスパートナ ーに人が多い	会話をする時 ハイにエサ あげる女性 1人 1人 1人 タチウツを抱え入れ 1人休憩一動的 監視	会話をするおじさん 休 憩するおじさん	
18:00	また落書きしている状 況 日本の利用層 が入り込んでいる	下校で井井有条な 女子高校 生活	道具で遊ぶ子を抱 く	道具で遊ぶ子を抱 く	運動場で一眼 鏡で見守る母親	待ち合わせ スマホ 会話	若者に声をかけていい男性 自転車休憩中の男性	待ち合わせ スマホ 飲み会の集合 カップ ル利用 食堂	適正判別指導開 始
19:00	箱になりゴミの拾 い箱が設けられる		道具で遊ぶ子を抱 く	道具で遊ぶ子を抱 く	国内各所で喫煙と 飲食	喫煙エリック付たてばこを拾 い吸いいる男性	音楽を堪能するおじさん 休 憩するおじさん	音楽を堪能するおじさん 休 憩するおじさん	こども広場で飲 み外食用具集
20:00	大学生が多くストリー トライブも盛況	自転車を出し廻 宿する男子高校生	丘で休憩 合わせる父子	道具で遊ぶ子を抱 く	手元に運営する飲食 料持合せ	手元に運営する飲食 料持合せ	手元に運営する飲食 料持合せ	ストリートライブが開始される	
21:00	ナンバが増える		エリックを運営多 数の高校生	エリックを運営多 数の高校生	一眼レフで室内を撮影する男性一人 一人ラ イフで隠れ男 おしゃべりする女性二人	キーリバーパックで休憩する男性	音楽を堪能する 大學生カップルに喜びけ る男性	ストリートライブの音楽 ナショナルアーティスト女性	サイファーの集団
22:00	若者ののが多い トイ レが混雑	人を持つ女性 通勤する 人	エリックを運営多 数の高校生	エリックを運営多 数の高校生	一眼レフで室内を撮影する男性一人 一人ラ イフで隠れ男 おしゃべりする女性二人	おしゃべりする女性二人 中央を眺めるニミンシャツ男 性	一眼レフで室内を撮影する男性 中央を眺めるニミンシャツ男 性	一眼レフで室内を撮影する男性 中央を眺めるニミンシャツ男 性	ストリートライブ
23:00	終に合わせて帰宅す る集団		エリックを運営多 数の高校生	エリックを運営多 数の高校生	半袖シャツのおじさんが女性に声掛け繰り返 す	寝寝中	広場中心でゆったり語る男 性	社説 東京 人間観察 ナンバ 街へ散歩し て立派な小説家 佐々木先生	道正判別指導用 書
0:00	終業時間に過ぎた頃 自転車乗りりが立 つ		エリックを運営多 数の高校生	エリックを運営多 数の高校生	ナシナシおじさん 一人で御馴染みでライフを聞き入る男性	寝寝中	寝り目一度 一でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	道正判別指導用 書
1:00	未だ人が多く滞在して いる		エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	ストリートライブを聞き入る中年男性	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	道正判別指導用 書
2:00	飲み会終わりの人が増 さまき通りから の出来		エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	飲み会終わりのよう女性たちや夫婦 夫婦でシャワーマスクを着た着物	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	道正判別指導用 書
3:00	火災で多くの女性だけ でござりが立つ		エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	エリックでの喫煙 長い髪のボーリ	スリーリトライブ終了後シニアと交換する	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	スリーリトライブで使うのりと リエスリーブルボーリーの集団	
4:00	落ち込んでいる印象		寝寝中	寝寝中	寝寝中	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性
5:00	始まりがづく人が増え る六時近くまでナシ バ	新天工の仕事を行っている人 が国内のトレイル利用	寝寝中	寝寝中	飲み終りて始発まで待つ姉妹女性	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性
6:00	夜が明け散歩場所が増 りカクスが集ま		寝寝中	寝寝中	寝寝中	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性
7:00	早朝 ゴミが清掃が開始	通学の高校生	出勤する人々	出勤する人々	朝食を食べる人々 カップル 徒歩明けの集団 の管理	寝寝中	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	寝り目一度 1でスマホを読み 美容師で しゃがむ女性 1人 1人 1人 1人 1人 1人 風呂でシャワーマスクをかぶる女性	自転車の補充 行われる車 す利用者が我

れた事例を統合した結果を表1に示す⁽⁵⁾。網羅的に行動だけを記録するだけでなく、利用者の社会属性、関係人数、行動を事細かく観察の対象とし、記述した。

3-2. 昼間の利用実態

表1に示すように、昼間の利用として親子連れや老夫婦、大学生などが待ち合わせ、会話、休憩、食事などの行動が多く見られ、休日を満喫するような行動が多くみられた。また朝方の出勤・通学前や昼食時、夕方以降には制服を着た学生やビジネスパーソンたちが確認された。そして喫煙者の利用も終日見られた。一時的には喫煙所付近の利用者が過多になり、園内各所で喫煙している様子も見られ、昼間において子供たちの側に侵食するような状況もあった。

関係人数別の公園利用について、1人の場合、眺める、スマホ利用、飲食、読書、喫煙などが多く見られた。2人の場合、会話が多く、3人以上では写真や動画撮影、会話などが見られた。3人以上の集団は大学生や家族連れがほとんどであるため、撮影などは若者文化の一環と考えられる。また、ダンスを練習する人や、

ダンスの撮影会、椅子を利用した写真撮影など広場の中心付近で行われ周囲の人の視対象となるような活動も確認された。その他、犬の散歩や飲酒、ナンパ、編み物、スケートボードなど多様な行為が確認された。

3-3. 夜間の利用実態

夕方の午後5時以降、仕事終わりのビジネスパーソンや学校終わりの高校生が見られた。また、適正利用指導の指導員⁽⁶⁾が巡回を始め、高校生などに話しかけていた。仕事終わりに、動画鑑賞やネットサーフィンなど、家に帰る前の暇つぶしとして過ごしているサラリーマンも多く見られた。午後6時ほどからストリートライブが開始され、演奏を聞く若者たちも多く見られた。仕事終わりのビジネスパーソンや大学生など飲酒する人や集団も多く、外国人の方が芝生に腰を下ろし飲み会をしている様子も見られた。一方で、園内のいたるところで喫煙する人が増加し、酒類や吸い殻、ペットボトルなどを放置が多く見られた。

若年層が多く滞在しており、男性グループが出会いを求めて女性グループに話しかけるナンパが数多く行われていた。また、ホームレスのような高齢男性から若者への声かけや、男性同士でのコミュニケーションが生じている状況も見られた。終電後の時間帯でも、ストリートライブやナンパが継続して観察され、特にナンパは始発直前の午前6時ごろまで行われていた。明け方には、野宿したホームレス男性が飲み残しやたばこなどの物資を清掃実施前に回収している様子が確認できた。朝方にも、早朝出勤する人などが朝食や喫煙などで公園を利用していた。

3-4. 総括 24時間を通じた多様な利用実態

観察調査の結果から、表1のように警固公園では多様な社会属性の人々が同時に滞在している状況が多く、多様な行動が見られる豊かな利用実態があった。また、24時間の時間帯を通じて断続的に利用されているということが明らかになった。

4. 観察結果の考察

4-1. 警固公園の事象の関係性

前章の観察調査の結果から、警固公園で生じている複数の事象は相互の関係性や設計意図による影響が見られるものがあった。それらの関係性は、表3に示すような類型が考えられた。次節から、関係性の類型に基づいて特徴的であった3つの事例について取り上げ、考察する。

4-2. 子どもの遊びとその風景 (①・⑥・⑦)

交通量が少なく飛び出しても安全という観点か

表2 事象の関係性の類型図(筆者作成)

人から 人への 影響	共時的 視対象	視対象として影響する	①・「子どもの遊び・ふれあいの三角化」・ナンパ ・人の往来・岸辺のベンチに座る人
		視対象に影響される	②・「風俗のストリートカルチャの仲間集め」・セールス ・ホーリースのアイデンティティや賑わいの安心感
		他者への危険・迷惑	・受動喫煙やポイ捨て ③・「ストリートライブの騒音、人通りによる通行への迷惑
	逸脱行為 管理とのせめぎあい	管理とのせめぎあい	④・「スケボーヤストリートライブと適正利用指導 ・犯罪と防犯・トロールや警察の巡回
		行動場面の合致	⑤・「周りがナンパしてたらナンパしやすいやつら ・ランチしてたらランチしやすいやつらになる ・周りが一人なら一人、女性なら女性の集団が集まる傾向
	非共時的な関係		⑥・「孤独者のえりやりと子供のトト追いかけ ・盛り場のミミが物資の補給
基盤的条件 から人への 影響	設計デザインによる影響 立地特性による影響	設計デザインによる影響	⑦・「ユニバーサルデザイン・スケボーの不適切利用の抑制 ・快適な滞留を生む景観特性
		立地特性による影響	⑧・「交通の結節点・若者文化の場所性」

ら、現在は南東側にこども広場が整備されており、遊具は低年齢向けのものになっている。一方、聞き取り調査では、小学生程度の子どもたちの遊び場としては魅力的でないとの意見があった。実際の観察調査においても、こども広場ではない他の場所における、石のベンチの登り降り、砂いじり、みはらしの丘での滑り、複数人での鬼ごっこ、ハトの追いかけっこなどの活動が、小学生程度の子どもの遊びとして観察できた。

このような地形を生かした行為や他の生き物自体が、遊具の対象年齢以外とされる子どもたちの遊びとなっていると考えられる。こうして子どもたちが広場の中心側で遊ぶことによって、その風景が良好なイメージをもたらし、他の滞在者の視対象として、他の利用者の滞在を誘発していると考えられる。

4-3. ホームレスと夜の盛り場の関係 (②・⑥・⑦)

ホームレスの方の中には、当事者同士や若者など他人に話しかける行為が見受けられた。藤井(2001)¹²⁾は、こうした会話による一般社会とのつながりが彼らのアイデンティティを支え過酷な野宿生活を可能にしていると述べている。また、区役所の元担当者⁽⁷⁾によると、ホームレスの方々は人が多く賑やかで安全だとして、警固公園で寝泊まりしているとのことであった。再整備により安全が担保されたことや若者の場所性を帯びた立地特性によって夜の盛り場が形成され、その結果として、ホームレスの方々のある程度安全な宿泊や飲み会の残り物としての物資の補給、彼らのアイデンティティの維持が可能になったと考えられる。

4-4. ストリートカルチャーと管理の動的平衡 (③・④)

観察では、スケートボードやストリートライブ、ダンスの撮影会などのストリートの身体文化の営みも複数確認された。これらの文化は彼らのアイデンティティやコミュニティを確立したり、公園での聴衆や観衆を楽しませたりするなど好影響を及ぼす側面もある。一方で、器物破損や騒音被害、通行の妨げ、場所の占有など公共の福祉に反するものとして公的に禁止されており、どれも管理側をいなしながら行われていた。公園管理が、苦情を受けた際や逸脱し過ぎたもの

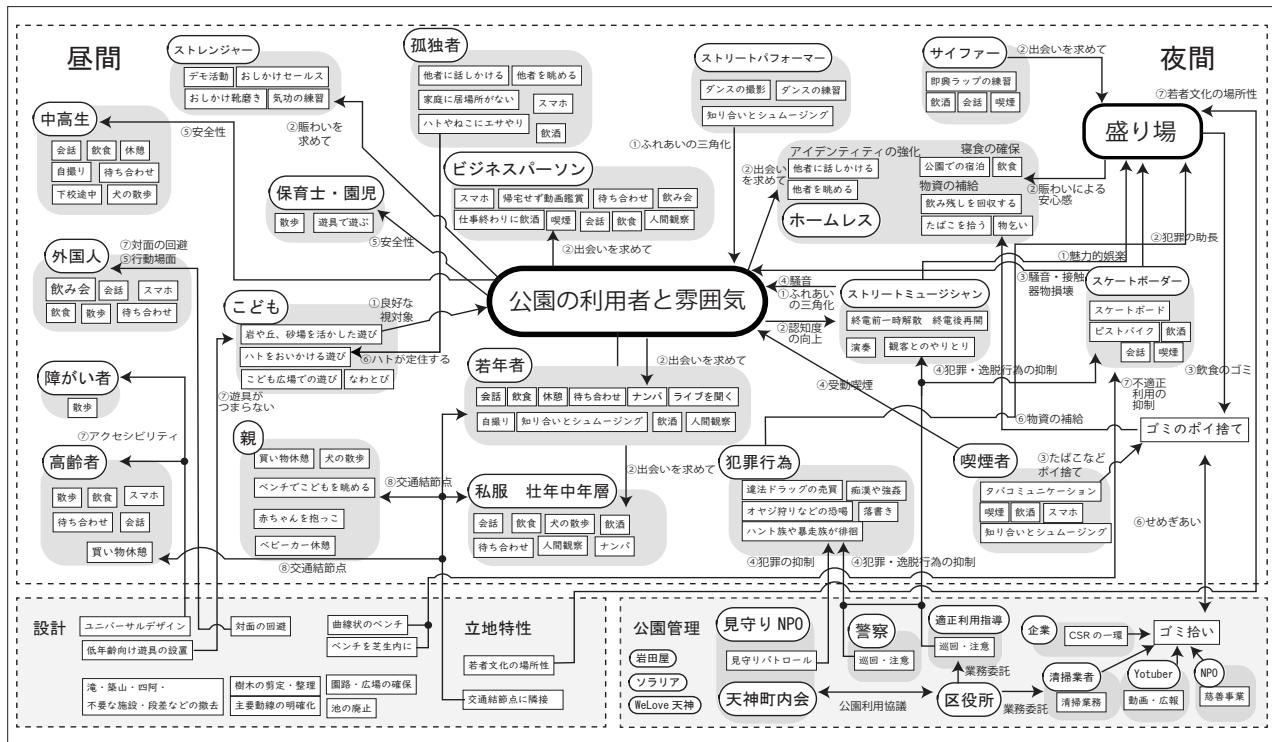


図2 警固公園における事象の総体と連関の図(筆者作成)

を時折注意することで、それらの営みが行き過ぎることを抑制しつつ、活動を完全に抑え込むことなく好ましい程度の活動が行われる動的な平衡状態が生まれていると考えられる。

4-5. 総括 警固公園を共有する事象の連関

上記の3事例のように、警固公園で見られた社会属性の集団と行動をまとめるとし、それらの間の関係性とその類型の全体図を図2に示す。また図の下部には利用実態以外の基盤的条件を補足的に書き加えた。

このように、一つの場を共有することで、個々の事象が他集団の活動や利用に対して相互に影響している状況があった。また、こうした関係性によって多様な人々が共存する空間となっていると言える。

5. 研究の総括

5-1. 結論

本研究では、警固公園の定性的な観察調査や利用者、関係者へのヒアリングを行い、警固公園で生じている社会事象の総体とそれら事象の関係について以下の概観を明らかにした。

1) 警固公園では、24時間を通して多様な社会属性の人々が同時に滞在している状況が多く、多様な事象が見られる豊かな利用実態がある。

2) 公園という一つの場を共有することで個々の事象が他集団の利用に対して相互に影響している。

3) 利用者や個々の事象の相互の関係性によって、多様な人々が共存する空間となっている。

5-2. 公園の公共性と包摂性に関する展望

本研究で、警固公園での事象は利用者間で相互に関係しあっていることが明らかになった。今後、公園の公共性や包摂性を担保するために、こうした関係性まで捉えた上で議論が必要であると考えられる。そのためには、都市工学的な定量調査や社会学的な定性調査のどちらかに偏るのではなく、分野横断的な研究が必要であると思われる。

謝辞

本研究調査に際し多大なるお力添え・助言を頂いた九州大学人間環境学府飯嶋准教授、元中央区役所整備部維持管理課公園係川田氏、天神2丁目1区町内会長藤木会長、NPO法人日本ガーディアン・エンジエルス福岡支部長島津氏、ヒアリングに協力して顶いた方々にはこの場を借りて、感謝を申し上げる。

脚注

- (1) 参考文献8によると、警固公園を擁する中央区大名地区の犯罪件数は、2010年には328.2件ではあったが2015年には75.9件、2018年は69.6件と警固公園のリニューアルされた2012年を機に大きく減少している。
- (2) 参考文献6の福岡大学の資料では11,382 m²とされている。
- (3) 藤木会長のヒアリングより照和の若者文化における重要性をお聞きした。
- (4) フィールドワークは、10月11日(日)7時~18時、20日(火)14時~15時、21日(水)14時半~23時、23日(金)11時~16時半、24日(土)20時~32時、11月6日(土)18時~24時、以上の日程で実施した。
- (5) 筆者の主観的視点で外見や会話の内容から分類を行った。壮年は大学生以上の23歳~64歳程度と思われる人物を、ビジネスパーソンはスーツや作業着の人物を分類している。
- (6) 公園内の迷惑行為を防止のため、中央区役所が毎日18時~24時で配置している。
- (7) 元中央区役所地域整備部維持管理課公園係の川田氏に行ったヒアリングより。

参考文献

- 1) マーモット・マイケル・栗林寛幸監訳(2017)「健康格差 不平等な世界への挑戦」日本評論社, pp. 249-251
- 2) 大塚芳嵩、那須守、高岡由紀子、金 侑映、岩崎 寛(2014)「都市公園における利用行動と健康関連QOLの関係性」日本緑化学会誌, 40(1), 90-95
- 3) 李 静雅、大井 尚行(2017)「公園における着座に関する調査—福岡市警固公園と天神中央公園を例として」人間・環境学会誌20巻1号, pp.21-24
- 4) 羽生 崇一郎、南 博文(2005)「深夜の都市公園の利用実態に関する事例的研究」人間・環境学会誌9巻1号, pp.32-
- 5),10) 柴田久(2017)「地方都市を公共空間から再生する 日常にぎわいをうむデザインとマネジメント」, pp.34-58
- 6),11) 福岡大学工学部景観まちづくり研究室プロジェクトリポート:警固公園再整備事業
- 7) 小松崎俊作、尾崎信(2016)「景観デザインによる社会イノベーションのメカニズム分析:コロンビア・メデジン市のペレン公園図書館と福岡市警固公園との比較」平成27年度国土政策研究支援事業研究成果報告書
- 8) 福岡市(2020)「福岡市中央区 大名地区データ集」
- 9) ライブハウス照和公式サイトより,(最終閲覧日 11月20日)http://www.livesyowwa.com/history/index.php
- 12) 藤井浩人(2001)「福岡市の都市下層における野宿者ネットワーク—野宿生活の意味世界—」, 九州大学人間環境学府 発達・社会システム専攻